

利用者の声 (抜粋)

故人の魂を運ぶ特別なお棺

お葬儀は釘無し棺を使いたい・・・



Episode : 01 「火葬日時を遅らせてでも・・・」

東京都 (T斎場)

開発当初、LABO棺が商品化しておらず試作品しかない頃、ある方から連絡があった。「親父が亡くなった。以前耳にした釘無し棺を絶対に使いたい。」との申し出だ。試作品を現地に輸送するのに3日間ほど時間がかかる。しかし、その方が選んだのは、火葬日時を遅らせての「LABO棺」使用だった。火葬は無事に終了した。火葬終了後にお礼の電話がかかってきた。「家族みんなが喜んでくれたよ。ありがとう。」との御礼のお言葉を頂いた。

Episode : 02 「お金の問題ではない・・・」

千葉県 (S葬儀社)

LABO棺の存在を知る方から「〇〇〇葬儀社に1個送ってくれ」との連絡があった。その葬儀社様はLABO棺の取り扱いがなく戸惑っていたが、葬儀社のプラン内のお棺を購入する条件で、LABO棺の利用を許し遺族の希望を快諾してくれた。その方には、お棺の代金が重複して通常よりも高額な代金をお支払い頂くことになると再確認したところ、「お金の問題ではない。何よりも兄貴が喜んでくれると思う。」との答えが返ってきた。



Episode : 03 「火葬炉の前で・・・」

和歌山県 (S火葬場)

2日後に火葬予定の方から「LABO棺を使用したい」との連絡を頂いた。すぐに配送手配をしたのだが、到着予定は火葬当日。出棺時間にぎりぎり間に合うくらいだ。喪主から「直接、〇〇火葬場へ持ってきてくれ。火葬炉の前でお棺を交換するから・・・」との依頼を受け火葬場へ直接納品した。火葬場の協力もあり、火葬が開始される寸前に火葬炉の前で故人を移し替えた。

火葬終了後、「間に合って良かった。周りに釘も無くとても白くて綺麗なお遺骨だったよ。」と感謝の言葉を頂いた。

※「故人の尊厳」を守る為に、ご家族のご理解とご協力をお願い致します。

※一部の火葬場においてLABO棺は既に支持されています。